

地域での実績 今回は西花畑校区における活動実績をご報告します。

小学校前の国有地の有効活用

西花畑小学校前の空き地(国有地)を、夏祭りの資材搬入口や小学校遠足時のバス乗り場として使わせて欲しいという要望がたびたびあり、そのたびにおにき誠は国道事務所との窓口となっていました。この空き地はもともと都市高速ができる際の資材置き場として使われていたものです。都市高速も完成したことから、おにき誠は国土交通省と交渉し、この土地を福岡市に譲ってもらうことに成功しました。今後は福岡市の管理のもと、地域のために使えることになります。



西花畑小学校前 空き地

危険な通学路を改善

西花畑公民館前の通学路は狭く、交通量も多いことから大変危険な状態となっていました。地域の皆さんと改善策を考え、「通学路」「減速」「スピード落とせ」の道路標示を行いました。



西花畑公民館前 通学路

松本池を公園に

桧原桜公園前の松本池は、雑草が伸び放題の未利用地となっていました。周辺住民の皆さんで協議してもらい、ここを公園にすることにしました。これも国有地を福岡市に譲ることによって実現したものです。



桧原桜公園前 松本池

ヒストリー

幼少時代



小学生時の夢は、政治家になって「世界を平和にすること」。

学生時代



高校から続けるラグビー。その熱意でW杯を地元・福岡に誘致。

銀行員時代



銀行員として地域の現場で、生きた経済や地域の実情を学ぶ。

政治家へ



30歳で県議会議員、40歳で衆議院議員となり実績を重ねる。

衆議院議員おにき誠プロフィール

- 昭和47年10月 福岡市生まれ
●田島小学校(城南区)卒 ●当仁中学校(中央区)卒
●ラ・サール高校卒 ●九州大学法学部卒
●平成7年～14年 西日本銀行(西日本シティ銀行) 渡辺通り支店～大名支店
●平成15年～24年 福岡県議会議員(3期10年)
●平成24年12月 衆議院議員に初当選
●平成26年12月 衆議院議員再選(2期目)
●平成27年10月 環境大臣政務官
●平成28年10月 自民党税制調査会幹事
●平成29年10月 衆議院議員再選(3期目)

主な役職(令和2年10月～)

- 【衆議院】 経済産業委員会(理事) 財務金融委員会 倫理選挙特別委員会(理事) 憲法審査会
【自民党】 厚生労働部会(部会長代理) 社会保障制度調査会(幹事) 総合エネルギー戦略調査会(事務局次長)

地元「福岡」の皆様の声を国政に届けて参ります!

衆議院議員 おにき誠 後援会事務所

衆議院議員 おにき誠後援会事務所 〒810-0014 福岡市中央区平尾2-3-15-2F Tel 092-707-1972 Fax 092-707-1984 Mail makoto@onikidon.com



衆議院議員 福岡2区[南区・中央区・城南区] 自民党

おにき誠新聞 NO.10



今を乗り越え、未来を創る。

教えて!! コロナワクチン 今回はよく寄せられるご質問にお答えします。

福岡市でもワクチン接種の予約が始まり、市内のクリニックは予約電話の受付とデータの入力に忙殺されています。私はすぐさまその混乱状況を官房副長官に訴えました。ワクチン接種にかかるコストを予算措置し、ワクチン接種が円滑に進むよう取り組んでまいります。



地元の声 国政に!

衆議院議員 おにき誠

Q ワクチンの効果は?

A 現在日本で承認されているワクチンは、発症予防効果と重症予防効果が確認されています。重症化する人が減れば入院者も減り、医療機関の逼迫も改善されます。重症化リスクの高い人から優先接種するので、社会全体のコロナリスクを低減することができます。

Q 副反応は?

A 副反応は頭痛や筋肉痛など一過性のものがほとんどです。強いアレルギー反応であるアナフィラキシーショックは、100万回あたり72件と報告されています。接種後15～30分、接種会場に待機していただき、ショック症状が出てもすぐ治療できる態勢をとっています。

Q 「国と県と市の役割は?」

A ワクチン接種は、国がワクチンを調達し、県が市町村に振り分け、市が接種を実施します。市ごとにやり方が異なるのは、接種の進め方は各市の裁量に任されているからです。地元選出の国会議員として福岡市・福岡県・医師会と力を合わせて、速やかな接種に努めます。

Q 変異株にも効くの?

A ウイルスはヒトの免疫から逃れるために、日々変化を続けています。変化の結果、ウイルスの感染力が増すこともあれば、ワクチン効果が減ることもあります。しかしウイルスの基本的な構造は変わらないので、小さな変化でワクチンの効果がなくなるわけではありません。

## 新型コロナを乗り越える 補助金のご紹介

### 福岡市 感染症対策に取り組むお店や施設を支援します！ 感染症対応シティ促進事業

感染症対策強化を図るため、換気・非接触・衛生管理・身体的距離の確保を進める工事費用や、物品・サービスの導入にかかる費用の2/3、最大60万円までを福岡市が補助します。

**対象事業者** 各種小売店、飲食店、児童福祉施設(工事のみ)、交通機関(バス・タクシー・船舶)、金融機関(郵便局、保険代理店など)、学習塾、劇場(映画館、演芸場など)、運動施設・遊戯施設(スポーツクラブ、カラオケなど)、遊興施設(ナイトクラブ・ネットカフェなど)、生活関連サービス施設(理美容院・エステ・マッサージなど)

**支援の対象になるもの**  
 ①【工事経費:上限60万円】  
換気扇設置工事や、窓・手洗いの増設、自動ドア、自動水栓への改修などの工事経費  
 ②【物品・サービス導入経費:上限20万円】  
空気清浄機やサーモカメラ、アクリル板やフロアマーカー、セルフレジ、モバイルオーダーシステムやキャッシュレス決済用のデジタル対応ツールなどの購入経費

申請は1事業者につき原則1回まで、①②あわせて上限60万円の支援となります。締切は今年6月30日(水)まで！なお、工事経費の補助については事前に申請し、交付が決定したあとに着手したものが対象になります。物品購入・サービス導入のみの場合は導入後の申請が可能です。

詳しくは福岡市 感染症対応シティ促進事業HPか  
同事業事務センター ☎092-707-3046までお問い合わせください！

### 国 事業再構築補助金(中小企業通常枠)

コロナ禍が長期化する中、今のままのやり方では商売を続けていくことが難しい…という方、いませんか？商売のやり方を変えて新たな需要を取り込んでいきましょう！  
新分野展開や業種・業態転換などの取り組みに要する設備投資やソフト導入を支援します。採択されると国から2/3の補助が出ます(100万から6000万円)。

**申請要件** ①②の要件を満たすと申請できます。

- ①申請前の直近6か月間のうち任意の3か月の合計売上高が、コロナ以前の同3か月の合計売上高と比較して10%以上減少している中小企業。
- ②認定経営革新等支援機関や金融機関と一体となって下記の条件※を満たす事業計画を作成すること。※補助事業終了後3～5年で付加価値の年率平均3%以上の増加、又は従業員一人当たり付加価値の年率平均3%以上増加。

【注意】・受付は電子申請になります。申し込みにあたってはIDの取得が必要となります。・認定支援機関による事業計画を提出することが必要となります。認定支援機関は地域ごとに指定されていますので、中小企業庁ホームページでご確認ください。・事業計画に対して審査があります。要件を満たしていれば誰でも受給できるというものではありません。・補助金は、全ての設備導入が終わって領収書を提出してから支給されることとなります。したがってその間、全ての資金をいったん自己負担する必要があります。

詳しい内容は中小企業庁のページをご覧ください。▶



### 衆議院本会議で登壇(総理訪米報告を受け)

令和3年4月20日、おにき誠は衆議院本会議で登壇し、アメリカ合衆国バイデン大統領との会談を終えた菅総理に自民党を代表して質問しました。

- 香港・新疆ウイグル自治区などの人権問題について
- 北朝鮮拉致問題の即時解決について
- 日米安保条約は尖閣諸島にも適用されることの確認
- 日本・アメリカ・インド・オーストラリアの四か国の連携
- 気候変動分野での日米の連携

この国会質問はNHKの夜のニュースでも取り上げられ、国民的注目を集めました。YouTube「おにき誠TV」でも動画を公開しておりますので、ぜひご覧ください。



動画はこちら



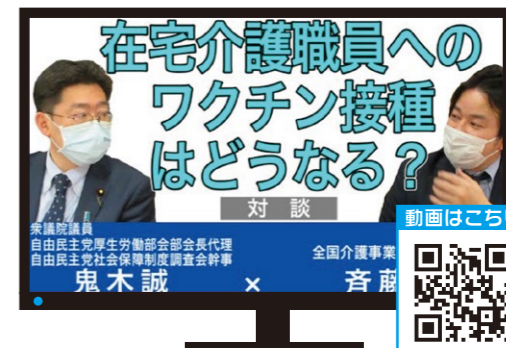
### 議員立法で「給付金差押さえ禁止法案」を提案

新型コロナウイルスの感染拡大が長期化する中で、低所得のひとり親子育て世帯、および低所得子育て世帯に給付金が支給されます(令和二年度 子育て世帯生活支援特別給付金)。この給付金は自ら受け取ることに意味があることから、差押さえ等を禁止する法律を議員立法で作りました。おにき誠は自民党厚生労働部会の部会長代理として、自民党国会対策委員会や与党政策責任者会議にて法案説明をしました。  
児童扶養手当を受け取っている家庭は申請なしで、最近収入が減少した家庭は申請に基づき支給されます。長引くコロナ禍による苦境を乗り越え、幸せな日常を取り戻したいと思っています。



### 全国介護事業者連盟 斉藤理事長と対談

おにき誠は全国介護事業者連盟(以下、介事連)の斉藤正行理事長と対談し、その様子がYouTubeで公開されました。おにき誠と斉藤理事長は10年来の友人です。政治と介護、それぞれの道を歩んだ二人が、現在力を合わせてコロナと戦っています。  
動画では、「訪問介護者への優先的ワクチン接種」という課題解決に向け、介事連が政治に働きかけた様子が紹介されています。国のワクチン接種計画では、施設型介護の従事者は優先接種となっていました。デイサービスや在宅介護従事者は含まれていませんでした。介事連の訴えは自民党ワクチンプロジェクトチームに届き、自治体の裁量で訪問型介護にも優先接種ができることとなりました。今後ともより良い介護環境の実現に向けて共に頑張ってまいります！



動画はこちら

